

刊夕 日九廿月五

常磐毎日新聞

定価 一部全紙 五銭
 廣告料 五銭 十二行 五銭 五銭
 日曜 祭日の日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

母に贈る言葉

上・村 哲 彌

【五】

私の赤ん坊は比の正月の誕生であります。豫定よりは稍々早く出生しました溢乳や、吐乳をやりますの丁度長男が今年三月中學の入學試験を受けますので、で餘り酷く泣かせることが出来ません。その爲め出来るだけ抱きあげないで静かに寝せておくといふ方針が途中で壊されたのであります。それは七十になります。私の母が居りました子煩悩な此の老人には赤ん坊の泣くのを黙つて見てゐることが到底堪えきれないで、つい／＼手を出し、それに赤ん坊には素人目にはムニアらしい病候もあつて餘り泣かせるに及ぶが膨れますので妻もつい心配になるといふようなことも手傳つたのでしたが、幸にして長男の試験も済みましたので愈々本格的に、規則勵行に努めることを家内中申合せをしたのであります。赤ん坊の順應力といふものは實に素晴らしいものであります。ほんの二三日母や家内が抱いてやつたのみでありましたのに、抱いて貰ふ

と、抱いたのみでは満足せず、座敷を歩き廻ることを要求する迄に到つてゐたのであります。従つて寢臺にちつと寝てゐるといふ習慣に歸すのには三四日といふものは、随分泣かれたのであります。その間には家内が一寸隣家に御挨拶に行つて授乳の時間がほんの十分間だけ遅れたことがありましたが、その時など私の母は赤ん坊の泣くのを貰ひ泣きし、家内が歸つて見ると母は眼を泣き腫らしてゐるといふような光景を見せつけられては全く彼女も一諸に泣かされたとの報告を私は聞いたのであります。そのやうな悲喜劇もありましたが、私は赤ん坊は三四日で寢臺におとなしく寝る習慣を取戻しまして、母などは心から感心し、今度妹の所に赤ん坊が生れたら初めから宅のやうにして育てさせるのだと勇み立つてゐるやうな次第であります。只今、夜も三時間置きに眼を醒してお乳を貰つて居りますが、全く時計よりも正確であります。或晩の如き、お乳の催促をするのに時間が未だ来てゐないもので、計を見ると、全く赤ん坊の方が見事に、懐中時計の止まつてゐるのを発見したと

いふようなこともあります。目下夜の授乳を廢することにする可く準備中でありませうが、全く赤ん坊の正直さには驚かされたのであります。しつてとは正しい習慣を絶好の時期に於てつけてやるといふことにほかならないのであります。そして人間生活の基礎をなすところの成種の習慣は、早く既に誕生の直後からつけ始めねばならないのであります。その爲には親の克己と忍耐とが必要であります。首尾一貫することが大切であります。少し油断をしたり注意を怠つたりすると、折角つけた良習慣も忽ちにして破壊され仕舞ふのであります。早い話が私の家では只今申しましたやうに、家内中總掛りで犠牲を拂ひ、皆が赤ん坊を抱きかゝへたりあやしてやりたいといふ本能的な強い熱情を殺して寢臺におとなしく寝る習慣をつけてやつたのであります。此の自製の習慣を益々延ばし、更に次から次へと必要な良習慣を培つてやることが怠つたならば七十の老母が貰ひ泣き泣きしたことは何の意味もなかつたこととなるのであります。

門 專
 婦 産
 花 柳 病 科 科 科
 ◎入院隨意

井坂 醫院
 平町田町 電話五五九番

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井 質 店
 平・四電六〇六番



春の...
 レンコート
 春のオーバ
 春のセビロ
 御用命を!

平町 正札堂 洋服店
 電話四三番

根本婦産科醫院

平町南町五二一
 根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

久全炭店

磐城セメント會社特約店
 磐城平町五丁目 電話九九九
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久の生命なり

石 炭
 コークス
 豆 炭
 阿部石炭店
 平 驛 前
 電話三十七番

整形外科

レントゲン
 醫學士 大河内 一郎
 柔道 大河内 寅男
 平町橋樋小路四(電五八八)
 舊稱 大河内 接骨院
 大河内 整形外科醫院

電話新設 七一九番
 シチトク

お膳 新扇屋そば店
 平町白銀町

常磐線 上野、平間

急行二十分短縮

愈々流線型機關車

六月一日から運轉

國鐵のトピス

既報過般水戸平間で行はれた常磐線の流線型機關車はその後機關車の繰進訓練の手續の繰進訓練をつんだ結果愈々六月一日より常磐線急行を牽引して上野平間に登場する事となつたので従來同線の上下兩急行は水戸で機關車を取換へ乗務員も交替して居たのが今度は機關車は取替せず水戸の許りで上野平間に機關車は直通する事になつた

江名で陳情

江名町大字中之作漁港の船揚場は從來狭少で不便を來たしてゐるため同町大字折戸に縣議小野晋平氏が埋立橋を設置することに成り、昨廿八日同町吉田權右衛門外二名が平土木監督所に之が陳情するところがあつた

縣道編入

植田間明間田人線はこの程新縣道線に編入されたため之が編入披露會を明廿日午後一時から植田町料亭美登利で各關係筋を招いて盛大に催すことになつた

船揚場擴張

同所長幹旋で縣へ設置認可方申請することになつた

既報去る二十五日より實施した平間の公德週間にこれに宣傳に參加した川崎團長の引率する平少年團は連日午後一時から六時頃迄十五名の各班交替に出動して驛待合室の清掃から撤水、ローレット配布や旅客手廻品の搬送保管等キビキビとした活動振りを見せ殊に作業に熱心な健児達は作業時間を延長して貰ひ度いと申

穀物販賣統制

協議會開催

郡農會及び郡下穀物共販聯合會平米穀検査所聯合會來る卅一日午前十一時から平町マルトモホールで穀物類の販賣統制に關する協議會を開くが協議事項左の如くである

- 一、穀物ノ販賣統制の件
- 一、大麥受檢販賣準備の件

公德週間宣傳

平少年團の活躍

各班交替出動し

清掃その他に從事

一般から激賞さる

既報去る二十五日より實施した平間の公德週間にこれに宣傳に參加した川崎團長の引率する平少年團は連日午後一時から六時頃迄十五名の各班交替に出動して驛待合室の清掃から撤水、ローレット配布や旅客手廻品の搬送保管等キビキビとした活動振りを見せ殊に作業に熱心な健児達は作業時間を延長して貰ひ度いと申

第二職員野球

湯本遠征

去る二十七日切角勿來小學校迄遠征しながら雨天の爲め一戦も交はず歸平した第二職員野球チームは明三十日午後湯本町に遠征し同町小學校球場で試合を行ふ

事になつた
磐炭試掘許可 過般來出願中であつた磐炭の渡邊 泉雨村に於ける百萬坪の石炭試掘は此程許可され

札鐵から注意

大演習に就て 北海 道で行はれる陸軍特別大演習を控へて札鐵局から來道の旅客への御注意

大演習の期間中及びその前後には軍隊輸送、各種の御親閱團體輸送の爲客

車機關車逼迫し随つて一般旅客輸送は相當困難となり殊に函館本線、就中札幌、小樽附近及び室蘭は最も混雑し又青函航路は演習前後に客貨車、機關車航送の爲相當長期に亘り輻輳するので今秋北海道方面への臨時列車、船便を利用する團體並びに一般臨時旅客は九月中旬下旬から十月上旬までは旅行を遠慮せられたいと札鐵局から平驛に通牒があつた

傳染病は恐いと

全町兒童に注意

平各小學校で対策

平町各小學校は過般來衛生室を設けそれを見守る常置すると共に常に兒童の身体検査を行ひ肝油や海人草を服用せしめ便をなす等兒童の衛生方面に關しては萬全の策を講じてゐるが最近各所に傳染病患者が發生し更に昨今の氣候不順から益々蔓延の怖れがあるので全校兒童に對し各注意を行ふ一方病的の戸口調査を行ひ豫防薬を服用せしめる等水も漏らさぬ防疫凍を布くことになつた

檢定試験終了

二十五日から第一校講堂で行つてゐた本縣濱通り小學校教員及幼稚園保母の檢定試験は今二十九日終了した

第三研究教授

三小學校は今廿九日尋常二年生の讀方研究教授を行つた

磐女籠球大會

來計劃を進めしめた磐女校友會體育部主催の郡下小學校女兒童バスケットボール大會は從來石城教育會が主催となり隔年毎に舉行し

郡教育研究會

本日好間小學校に郡下教育會第三區第一部の研究會は今二十九日午前八時から同尋常小學校に開

會參加十校の訓導が理科級方の教授法に就いて打合せ

高女籠球競技

磐女は今二十九日於課後雨天体操で三年のクラス對抗バスケットボール大會を催した

磐中公徳講話

磐中は今二十九日午前十時から一時間山崎平驛長の公德に關する講話を行つた

平職業紹介所報告

- △荷上人夫 四十才迄 日給一圓
- △女中 卅才迄 月給五圓
- △農夫 五十才迄 月給十圓
- △集金員 廿四才 高卒
- △事務員 十九才 中卒
- △トラック助手 廿四 高卒
- △土工夫 卅一
- △鐵工職 廿二 高卒
- △豊夫 四十才迄 年給五十圓
- △豊夫外二件 給何れを十圓前後
- △粕人夫 廿才前後 給十圓
- △漁業雜役 卅才迄 給十圓
- △粕人夫 卅才迄 給十二圓
- △精米夫 廿五才 給六圓
- △採炭夫 四十才迄 日給一圓

柳居津虚空藏尊參詣

コース 猪苗代湖一野口英世博士生家一國寶立木觀世音參詣一白虎隊參詣一東山温泉一虚空藏尊參詣

期日 六月十日 午前八時出發

會費 金五圓 御一名様往復自動車賃宿泊料、書食料共

どなたも御申込み下さい

主催 尼子自動車商會

遊覽部

電話六四〇番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番

吉田久雄

警察官下大異動發表

柴田署長の居据りに

平地方では喜び合ふ

小田警察部長着任以来最初の本縣警察署長並に警部補の大異動は本廿九日午前八時發令されたが郡下に於ては種々榮轉の噂に上つた柴田署長が居座つて同署長を信賴する平地方では大喜び、平署次席警部補小林見盛氏が矢吹署長に榮轉、植田署長警部補菅野福七氏が拔擢されて屬兼警部に昇進、鶴岡四倉署長は勇退に決定、郡下警察界には大した波瀾も見せなかつたが全縣下に亘つて左の如く大異動を見た、尙部長、巡查級の異動は明卅日行はれる

川俣	田島	鯉淵龜之助	二本松中村	松本重右門
矢吹	平	小林見盛	若松(次)本宮	藤田武雄
白河	山口	若林六郎	福島(次)浪江	矢部治平
小濱	保安課	作田清	小野新町刑事課	川島和吉
郡山(任)特高	佐藤利助	特高	保安	横田市作
若松(任)同	笠原勇	桑折	白河	影山正影
中村(同)植田黒坂貞次郎	菅野福七	須賀川常葉	白井保壽	鳴兼
常葉(同)特高福田憲次郎	菅野福七	川口(同)保安課	平嵐健雄	警部
保安	書記室	橋本庄	署長に榮轉した平署次席	小林警部補は昭和七年八月縣
刑事課	須賀川	今野勝治	刑事課	喜多方本田勇次郎
平	桑折	猪狩見義	原町	若松
刑事課	喜多方	本田勇次郎	田島	同
板垣六郎				

鐵路情死の身元

女は内郷と判明

遙々實母住む故郷に歸つて 悲戀覺悟の心中

【昨報】土砂降る雨の中を内郷村大字御臺境字鶴巻地内の下り列車に飛び込み悲惨バラ／＼に轢断された情死男女の身元は平署に取調べた結果水戸市理七丁目大谷駒次郎氏三男友三郎(三)同市理五丁目料理店花月方酌婦内郷村大字白字水川平藤田久助養女さきみ(三)と判明原因は遺書もなく不明であるが女が久しい間病氣であるため同情からの情死と見

危篤の電報

情死體が発見された廿八日さきみさんの養家先内郷村白水字川半番地不詳藤田久助さん方では突然さきみさんの



明日の予報 今夜は北の風雨 後曇り 明日は 北東の風曇り

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 合唱 JOH R 唱歌隊
- 後六、二五 基礎英語講座 鹽谷榮
- 後七、三〇 講演「科學界のトビツク」京大教授工學博士岡本越
- 後八、〇〇 長唄「羅生門」
- 富士田新藏外
- 後八、三〇 苗代の蛙(六)
- 後八、四〇 寫生漫談 山海訪問「山徳川夢聲」川柳家金語樓
- 後九、五五 日本棋院春季大手合戦續
- 後九、三〇 時報 ニューズ 明日の話題 氣象通

一ケ年の煙草代金 四萬五千六百圓也

十年中警費消費力 平賣捌所管内調査

平町煙草賣捌所管内の十年度に於ける小賣業者の買受高番付は二十八日發表されたが最高は磐城炭礦の四萬五千五百九十四圓、古河炭礦九千三百二十四圓、小田炭礦六千八百二十圓、個人では江名町中山茂吉氏の

花札開張殺傷の犯人 今日豫審に廻る

今日豫審に廻る

(既報)賭場の続から好間村大字椎木平小山庄一方坑夫竹長勇(三)を隠し持った短刀で突刺し遂に死亡せしめた植田町の殺傷事件犯人植田町字本町料理店惠比須

報 番組豫告

- 明日の部
- 前六、三〇 基礎佛語講座 丸山順太郎
- 前七、〇〇 一朝の修養「觀經疏散善義」石黒觀道
- 前九、〇〇 衛生メモ
- 前二、〇〇 母の時間 「子供と犬と猫」藤井浩祐
- 後〇、〇〇 輕音樂 鐵琴と木琴獨奏 星出義男外
- 後一、〇〇 生齋初取引實況津沼瀧取引所より中繼
- 後一、三〇 オリムピック 派遣水上選手豫選並全日本水上選手權大會實況
- 明治神宮外苑ブル中繼
- 後五、〇〇 職業紹介事項
- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「東郷元師の少年時代」平川清高
- 後六、二五 趣味講演「世界經濟の回復について」富田勇太郎
- 後七、三〇 俚語 島山與三太郎外
- 後七、四〇 俚語 福田清藏外
- 後七、五五 管絃樂 日本放送交響樂團
- 後八、二五 人情唄「猫に小判」柳亭左樂
- 後八、四五 哥澤哥澤芝金

現金賭博

平署が一網打盡

廿八日午後四時頃江名町宇南町松本シソ方で同町鈴木又吉(三)同中原忠次(三)北町若松論(三)南町吉田ヒサヲ(三)土田ヨシ(三)畔田榮四郎(三)六名の男女が車座で現金賭博の花賭博開帳し居るを平署で探知同六時踏み込んで一網打盡逮捕した

第一遠足延期

十日行ふ筈であつた平第一校の遠足運動會は今二十九日雨天の爲め亦た六月一日に延期された

岡田報知氏 一日赴任

郡山支局に榮轉 同業報知平通信部岡田宗治氏は愈々六月一日午前十一時十分平發で郡山支局長に

裁判一束

双葉郡川内村大字上川内字林三六自動車運轉手秋元力治(三)は昨年十二月十二日同村下川内村地内で無免許の助手富岡町大字仲濱字釜田三〇原田勝九(三)にトラックを運轉せしめ今二十九日平區野木判事から自動車取締金違反として共に略式罰金二十圓に處された

平町人事

- 回出 出 新川町二三薄葉考一氏長女光子さん
- 回婚 姻 △東京市杉並區天沼三丁目五八〇當時十五丁目二四志水平八郎氏(二七)二丁目一四秋本愛子さん(二六)



（森上 映上）
 悟道軒圓玉（作）
 丸尾至陽（查）

一三三 小白洲の調べ
 青木彌太郎は津田幸次郎に如何なるごう問にかゝるとも責め殺されるまでは白状するなと注射をした、とこゝで青木の調べが手間取れた、めに關係者のしらべもこゝで延びることになり追つて呼び出すとの申し渡しのもとに一同さげられたこゝで青木も駕に乗せられて日の暮に傳馬町の獄に戻る、評定所の吟味のさまが早くも總牢に知れ渡り、中にも青木の居る獄の名主の内藤多治見は大層喜んで、何んで喜んだといふに青木が白状せず奉行をやり込めたは自出度のことだと大喜び、そこへ他の牢から見舞として酒や肴をおくつて来た、酒のことを牢ではタンボといふ、なほまた牢の鍵番や當番の同心に至るまで青木はえらいと褒める、奉行にさからつたものとして憎むが當然、それをほめるとは牢屋の空氣は變つてゐます、その後係の池田播磨守は青木を呼び出さぬ、これは自分が調べても白状せぬと思つた故、しかし下調べといふ名儀で町奉行附屬の與力が吟味する、これ

頭が働いた、それについ參考になる逸話があります、天保の末年、今から八九十年ばかり前老中の水野越前守が施政上について改革の蛇をふるつた、まづ第一に奢侈を禁じた、絹布を着てはならぬ、婦人の裝飾の髪かざりに金銀また鼈甲を用ひてはならぬ、食物も何処以上のもは許さぬとか、その時葺屋町と境町にあつた劇場を今の猿若町に追ひ込み、俳優は芝居のある町に住め、他に居つてはいか



で申す豫審判事です、この時の係で三好助右衛門に高橋小左衛門といふ與力、三好は池田播磨守の命令でごう問にかけても青木に白状させる意志、奉行よりの沙

汰をこれに御下知といつて重いことにしてある、それですからしばし青木を呼び出して町奉行の小白洲でしらべる、小白洲といふは予審廷のことです、今の裁判官程の素養はないが幕府時代の吟味與力はすこぶる

ぬ、また往來する時は編笠をかむし、藝術家を乞食のうに取り扱ふとは今から考へると夢のやう、この時一本所元町の與兵衛すしで一個三百文のすしを賣つた今の價格にすると五十錢あり、これとめ與兵衛は戻れ戻れ

錠手をかけられ家主あづけになつた、手錠は一日おきに町奉行に出て来ては役人に見せる、神妙にかけておますとそれを示す、しかしゆるくかけてあるから抜くことも出来る、寝る時に與兵衛が手錠はぶして枕もとにおいたが、スルトその晩近火です、びつくりしてとび起きた與兵衛、被へ馳け出してのがれたが手錠をやきました、さア大變、これが役人に知れると遠島になる、何うしたらよからうと家主や五人組とも相談したが新らしくこしらへてかけて行くわけにもならず、遠島になるを覺悟して奉行所に出るとこの時の町奉行な遠山左衛門尉、その部下東條八太夫といふ與力が係でした

八「與兵衛、何をふるへてゐる、風でも引いたか」
 問はれて與兵衛が
 與「昨夜近火にございまして家は灰になりました」
 八「ウム焼けたか、高いすしを賣つて無法な錢をまふけた天罰とあきらめろ」
 與「ハエ、家を焼いたは災難とあきらめませんがお預かりの手錠を」
 といつた時に八太夫が
 八「何だとお頂かりの手錠がゆるいから困ると、馬鹿な奴だな、ゆるい手錠をかけるは慈悲だぞ、こつちへ來い」
 と小白洲に入れて新らしい手錠をかけた
 八「これならよかう、さア戻れ戻れ」

といひました、これで與兵衛は助かつた、幕府時代の役人のうちにもかういふ融通の利く者もゐた。
 とこで青木を吟味する三好助右衛門はどんなことをしても彼に白状させやうとかかういふ意氣でしらべ

店主	が	店員
を	連	れて
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
喫	茶	
食	堂	

平・田町
 レストラン
 電三五二番

北川外科
 平町新川町
 長安堂主北川若夫
 電話四六四

一 齒科一般
 保存科補綴科 繼續架
 工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
 一口腔外科 一 レントゲン科
 中野齒科醫院
 院長 日本齒科 醫學士 中野 應 誠
 日本齒科 醫學士 西 川 次
 平町田町(松月堂向ヒ)
 電話 五〇九番

外科 門 專 光 X
 科 線
 上田外科醫院
 平町南町
 電話 二九番

高久病院
 院長 醫學士 高 久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤 羽 清
 藥局長 藥劑師 佐 竹 菊 雄
 平町田町 電話 五二三番
 耳鼻咽喉科
 外科花柳病科
 レントゲン科

小瀧へ!!
 ◇宿泊料 1.50 2.00 2.50
 (御滞在左記料金にて中食料をふくませます)
 ◇日歸浴席料 .20
 ◇自炊料 .50-.80 (入場料・室料 夜具料一切)
 ◇料理一定食 .80 1.00 1.50
 (その他一品料理洋食)
 ◇湯 効 神 經 痛、リウマチ、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所檢定済)
 ◇諸 設 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間 讀書室、近代式浴場と洗面所、水 洗式便所、小動物園、タクシー 御子様運動器具
 ◇名 物 川魚料理(うなぎ、鯉) 蜂蜜羊かん
 ●女中數名入用●
 常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
 御旅館 瀧 の 湯
 御自炊
 電話 (小名瀧) 103番